

2026 メディコム福岡

メディコム 医療 DX 推進展示会のご案内

日時：2026 年 2 月 14 日(土)
14:00 ~ 18:00

会場：福岡ファッションビル

〒812-0011

福岡県福岡市博多区博多駅前 2 丁目 10-19

TEL 092-431-7531(代表)



□公共交通機関

JR 博多駅(博多口)より徒歩 7 分
地下鉄祇園駅より徒歩 1 分(5 番出口)

□アクセス(お車のご利用より)

会場駐車場無料

セミナー②

医療 DX と情報連携の未来

～電子カルテ情報共有サービスからひろがる地域医療への期待～

※別紙にて申込ご記入下さい。

さらに電子薬歴の展示コーナーを設置。
自動生成 AI なども！ 詳しくは裏面へ！

お問い合わせは当社まで

 **メディコム福岡株式会社**

【本社】〒812-0016 福岡市博多区博多駅前 2 丁目 9-11

三共福岡ビル 5F

TEL : 092-411-7545 (代)

【久留米営業所】〒839-0809 久留米市東合川 8 丁目 8-21

プロスペール SII1F

TEL : 0942-44-9688 (代)

HP : <http://www.medicomfukuoka.co.jp> Mail : medicom_fukuoka@medicomfukuoka.co.jp

展示機器内容一覧



保険基盤用電子薬歴システム
PharnesX-MX



保険基盤用電子薬歴システム
PharnesX-EX



クラウド型電子薬歴システム
Pharnes LinkII



ハイブリッド型電子薬歴システム
DrugstarPrime3

— 充実した機能に「最高の使いやすさと見やすさ」を —



薬剤師AIアシスタント
DrugstarDrive

クラウド型電子薬歴システム × SOAP 自動生成 AI 連携体験デモコーナー！



保険基盤用電子薬歴システム
PharnesX-MX

こんなお悩みありませんか？

在宅医療が増えてきたけれど、薬局外での薬歴参照や入力がスムーズにいかない！



地域薬局型薬局
薬歴連携



大子チェーン薬局
オンラインマナーシートの発行



クラウド型電子薬歴システム
Pharnes LinkII



地域中核薬局
薬剤師スクリーンショット

PharnesX Hybrid Cloudが、そのお悩みを解決します！

ポイント 01

場所を選ばない薬局業務

クラウド連携により、薬局内はもちろん在宅訪問から安全に薬歴を参照・作成でき、どこでも柔軟に働ける環境を提供します。

ポイント 02

災害時も安心の業務継続性

ハイブリッドクラウドの堅牢な仕組みで、システム障害や災害時も業務を継続。「止まらない薬局」で地域医療を守ります。

ポイント 03

患者さんとの時間を創出

AIが薬歴作成をアシスト。煩雑な入力業務から解放され、薬剤師は患者さんとの対話に集中できます。

レセコン × 電子薬歴システム × SOAP 自動生成 AI 連携体験デモコーナー！



保険基盤用電子薬歴システム
PharnesX-EX

最新の医薬品情報で、処方薬をチェック

処方薬や疾患から相互作用、副作用、薬歴記載、アレルギー、禁忌薬のチェック結果を表示。重複投与チェックでは、配合剤成分の重複、同効果薬の重複にも配慮しており、より的確な重複投与チェックが行えます。

レセプト請求時のチェック機能で、請求内容のミスを防止

レセプト請求時のチェック機能で、請求内容に問題がないか確認が可能です。さらに、薬剤師用管理指導料を算定している患者さんのうち、薬歴未記載のものをリストアップ、薬歴未記入請求を防止します。



ハイブリッド型電子薬歴システム
DrugstarPrime3

— 充実した機能に「最高の使いやすさと見やすさ」を —

アドヒアランス向上を目的とした服薬指導

治療中に薬歴しなくなることは、患者さんはもちろん、医師・薬剤師にとって大きな機会損失となります。処方回数や副作用の発症時期など、状況に応じた指導を自動表示することで、服薬への不安による自己中断を未然に防ぎ、服薬継続率を改善します。また、指導せんを印刷して患者さんに手渡しすることも可能です。

情報提供書作成支援 (xlsx)

保存・印刷など多数の機能を支援。
処方箋フォーマット (xlsx形式) を電子薬歴システムに取り込む機能「アプライアンス連携」を開発しました。現在、調剤中の処方箋や、処方箋に添付されている処方箋アプライアンス連携し、薬歴から引用することもできます。処方箋の処方情報、処方箋によって異なる患者や処方によって異なる薬歴を異なる患者と紐づける対応が可能です。薬局が没収物を支援する場として地域の薬歴連携をサポートする活用を支援します。



薬剤師AIアシスタント
DrugstarDrive

患者と薬剤師の会話を識別し、SOAPで薬歴に取込み

AIアシスタントが、患者との会話を音声認識しテキスト化

SOAP形式で薬歴を下書きします。

会話は音声データは自動的に録音・保存されるため、あとで薬歴作成、消すことも可能です。薬歴作成時と、双方向マイクのチャンネルを切り替えることによって、患者の薬歴コメント (S) (T) を正確に入力。薬歴システムと連携することで最新の処方情報 (90日以内) を提供し、会話を正確に記録し、適切な薬歴の手書きを出力します。

システムに話しかけて薬歴を操作

AIアシスタントが、薬剤師の言葉を理解し、電子薬歴を操作します。

例えば「患者様、お薬の切替、アンプル～留置薬の管理、申し送り入力など、音声でアシストで表示することができ、薬剤師さんの、システムの操作方法を覚える手間を削減します。新機能のリリースされた場合や、目視しにくい操作を済ませたい場合にも、AIが操作をアシストします。